

研究主題 「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫」～見方・考え方を働かせた授業づくりを通して～

単元を貫く問い 世界の人々の暮らしが異なるのはどうしてだろう

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(●)  
 【小学校第6学年まで】  
 ◆我が国と経済や文化などの面でのつながりが深い国の人々の生活は、多様であることを理解している。  
 ◆異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。  
 ◆地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめている。  
 ◆外国の人々の生活の様子などに着目して、日本の文化や習慣との違いを捉え、国際交流の果たす役割を考え、表現している。  
 ●外国の人々の生活の様子 等

本単元の目標

場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付けることができるように指導する。

学びに向かう力、人間性等

- ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野に各地の人々の生活の特色やその変容の理由を、主体的に追究しようとする。
- ・世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする。

単元終了時のめざす生徒の姿

- ・世界の気候帯の特徴を理解し、そこに住んでいる人々の生活やその変容を基に生活や環境の多様性を理解するとともに、人々がより良い生活や社会を求めて工夫していることに気付いている。
- ・場所や人間と自然環境との相互依存関係に着目して、各地域の人々の生活が自然環境や社会環境の影響を受けているとともに、影響を与えていることについて気付き、多面的・多角的に追究したことを表現している。
- ・資料や情報を取捨選択したり、根拠を求めたり、批判的に思考したりしている。
- ・世界の諸地域の様々な生活や文化を尊重しようとしている。

知識及び技能

- ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。
- ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。その際、世界の主な宗教の分布についても理解する。

思考力・判断力・表現力等

- ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。

この単元からつながっている領域の付きたい力(◆)と内容(●)

【第1学年】  
 ◆世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。  
 ◆世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。  
 ◆世界の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。  
 ●世界の諸地域

生徒の実態と指導観

本校社会科の課題は、基本的な事項を理解し関連づけて思考すること、複数の資料を活用して条件に沿ったまとめや表現をすること、課題解決に向けて既習したことを活用して予測したり考えをつないでいくことがあげられる。1年生は4月に実施した標準学力調査において、基本的な知識理解が不十分であり、社会的事象の意味理解ができていなかったり、資料を活用して関連づけて思考したりすることに弱さが見られた。地理的分野のスタートである本単元において、課題解決に向けて、必要な資料の取捨選択、資料の読み取り方、根拠を示して表現することなど、これから地理の学習をしていくための学び方を学ぶことをいねいに扱い、これからの社会科の学習につなげていきたい。また、既習したことを行きつ戻りつしながら課題解決に活かし、さらに次の課題を導き出せるように授業を進めていきたい。

社会的活動

課題を把握し、解決すべき課題を設定して、課題を追究したり解決したりする 活動

調査や諸資料から必要な情報を取捨選択し、調べ、まとめる 活動

意見交流や情報交換を通して、多面的・多角的に考察し、表現する 活動

課題把握

【1時間】  
 <日本と異なる世界の衣食住の写真等の様々な資料から、なぜそのような違いが見られるのかを予想する。>  
 (めあて)世界ではどうして日本と同じ生活をしていないのだろう  
 ○世界の地域の衣食住に着目し、自然環境と人々の生活の特色に関心をもつ。  
 ○自分たちの生活や自然環境と比較しながら、何に着目しどのような資料で調べるか、どのように資料を読み取っていくのか、資料の活用方法を理解する。  
 ○生徒の疑問や言葉から「単元を貫く問い」(課題把握)設定し確認する。

課題追究

【5時間】(本時5/5)  
 <場所や人間と自然環境との相互依存関係などに関わる視点に着目して、世界各地の人々の生活が営まれる場所の自然的条件と社会的条件を関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する。世界の人々の生活や環境の多様性、それらの相互依存関係を理解する。>  
 資料の取捨選択、活用の方法や読み取りなど、既習事項を次の学習へ活かす。  
 (めあて)せっかく《 》に来たんだから、この暮らしをしてみたいや～○○帯～  
 ①熱帯(自然環境の影響を受けた生活から考察する。)  
 ②冷帯・寒帯(自然環境の影響を受けた生活が、どのように変容してきているか、諸条件と関連付けて考察する。)  
 ③温帯(同じ気候帯なのに、どうして変化があるか比較して考察する。)  
 ④乾燥帯(自然環境に影響を与える生活から考察する。)  
 ⑤高山気候(資料の選択や読み取り方等、総合的に既習を活用して考察する。)(本時)  
 ※基本的に以下の取組を毎時間繰り返し、行き詰まった場合には前時の学習に立ち戻ることで基本的な視点や考え方を定着させていく。  
 ・場所や植生の観察、雨温図の活用を通して、自然環境を理解する。  
 ・適切な資料を選択し、衣食住を調べ生活の特徴を捉える。  
 ・地域的特殊性と一般の共通性を捉え、他地域や自分たちの生活と比較して考える。  
 ・昔と現在の生活の変容の原因を探る。(自然環境、社会環境の変化)  
 ・グループ活動等の場面を設定し、調べたこと分かったことを共有するなかで自分の考えを深め、まとめていく。

課題解決

【2時間】  
 <生活が営まれる社会的条件に着目して、人々の生活の特色や変容等について考える。>  
 (めあて)異なる宗教を信仰する人々に関わるために、どんなことを知っておくといいたろう  
 ○世界宗教の大まかな分布を主題図から読み取り、資料を基にそれらの価値観を理解する。  
 ○世界の人々の衣食住や宗教、文化等を関連付けて考察し、自分たちが世界の人々とどのように関わっていくべきなのかを考える。

【1時間】  
 単元のまとめ学習の振り返り<単元を貫く問いについてまとめる。>  
 (めあて)世界の人々の暮らしが異なるのはどうしてだろう  
 ○世界各地で暮らす人々の生活の特色を、その生活が営まれる自然的条件や社会的条件に関連づけて、表現している。  
 ○各地に暮らす人々の生活を比較したり、生活の変容を自然・社会的条件と関連させたりして、多様性を理解し表現している。  
 ・雨温図から大まかな場所がわかり、気候帯や植生が生活に影響している。  
 ・気候や風、海流、地形などの自然条件と宗教や文化などの社会的条件により、暮らしに変化が見られる。  
 ・技術の発達や経済の発展、情報化社会等、社会の変化に伴って生活が変わってきている。  
 ・一方、世界の人々の衣食住の変容により、人々の生活に共通するところも見られるようになった。

評価規準

【知・技】  
 ・資料を選択したり、読み取ったり、活用方法を身に付けている。  
 【主】  
 ・日本と世界の国々との生活を比較して、多様な生活が見られることから、問いを見つけたり予想したりしている。

【知・技】  
 ・雨温図や必要な資料を取捨選択し、各地域の特色を適切に読み取り、衣食住の特色と関連づけて理解している。  
 【思・判・表】  
 ・各気候帯の地域的特色と生活の工夫を自然的条件、社会的条件に着目して考察し、その内容を言葉や文章で表現している。  
 ・同じ地域の過去と現在の生活を比較してその変化に気づき、人々の生活の変容について思考し表現している。

【知・技】  
 ・世界宗教の分布について、主題図を用いて大まかに理解している。  
 【思・判・表】  
 ・世界の人々の生活や環境の多様性に着目して、多様な文化の尊重に必要なことを思考している。

【思・判・表】  
 ・既習内容を比較したり関連づけて振り返りしてまとめ、考察し表現している。  
 【主】  
 ・よりよい生活や社会のために必要なことを考え伝えようとしている。

見方・考え方を働かせている生徒の姿

場所や人間と自然環境との相互依存関係に関わる視点に着目して、世界各地の人々の生活が営まれる場所の自然的条件と社会的条件を関連付けて、多面的・多角的に考察している

同じ地域の過去と現在の生活を比較しその変化に着目して、人々の生活の変容に気づき考察している